

第34回 通常全体協議会 報告書

日 時	平成29年 5月26日 (金) 13:30～16:00
場 所	大阪市淀川区宮原4丁目2番1号 メルパルク大阪 4階 ラマージュ
出席会員数	出席 会 員 19 社 ・ 25名 (会員、役員のみ) 委任状提出会員 9 社 計 28 社 (出席率100.0%) 支 部 会 員 数 28 社

1. 開会

司会者より平成29年度表彰式並びに全体協議会開会の挨拶が行われた。

2. 表彰式

全体協議会の議事に先立ち、上水道部会長、技術部会長として本部・支部の活動に功労のあった野崎氏及び、倫理部会長として本部・支部の活動に貢献のあった杉浦氏に、関西支部表彰に関する内規に基づき、北支部長から功労賞の表彰及び感謝状の贈呈を行なわれ、両氏からの謝辞が述べられた。



功労賞表彰

野崎圭吾(オリジナル設計株式会社)

西日本支社 取締役執行役員 西日本支社長)



感謝状贈呈

杉浦弘明

(株式会社 東京設計事務所 取締役)

3. 全体協議会成立報告

全体協議会の成立について、出席会員数は委任状を含み28社であり、支部会員数28社の2分の1以上の出席を得ており、支部運営規則25条により全体協議会は成立しているとの報告が司会者からあった。

4. 支部長挨拶

全体協議会の開会にあたって、北支部長が挨拶を行った。

多用中にもかかわらず第34回通常全体協議会に多数の皆さんに出席していただいたことと、協会活動に日頃からご支援ご理解いただいたことへのお礼の挨拶のあと、昨年6月と今年4月の新規会員入会の紹介と、平成29年度も持続的発展を目指して13名の役員と26名の部会員で支部活動をスタートしていることを述べた。

近年、上下水道事業を取り巻く環境の激変として、人口減少、少子高齢化、地震・豪雨災害、インフラの急速な老朽化、国・地方公共団体の行財政逼迫、経験・知見豊富な技術者の不足、事業管理体制の脆弱化など多岐にわたり、このような背景を踏まえて、一昨年の下水道法が改正され、今年度の水道法改正に向けた閣議決定が行われているといったダイナミックな施策の展開の中、我々上下水道コンサルタントも重要な責任を負っているとの認識を示した。



財政審から5月10日に下水道事業の生産性向上に向けた提言があった。

- ・水道事業に比した下水道事業における受益者負担の徹底
- ・民間活用の推進などによるコスト縮減の徹底

このことを受けて、水コン協では本部・支部が一体となって関係団体と連携して財務省や国交省に働きかけるべく動き始めており、上水道コンサルタント業界の一層の発展と向上を目指して、ビビッドに、そして精力的に業界のプレゼンス向上に努めていきたいとの抱負を述べた。

本日の全体協議会の内容は、平成28年度の事業レビュー、平成29年度の事業計画などについて5議案の形で報告するもので、限られた時間内ではあるが、積極的な審議により、有意義な時間になりたいとの希望を述べた。

5. 議長選出

司会者より、支部運営規則第15条において、支部長は全体協議会の議長になると定められているとの報告があり、北支部長が議長席に着き、議事に入った。

6. 議事録署名人選出

北支部長が議長となり、支部運営規則第27条に基づく本全体協議会の議事録署名人に次の2名の幹事を指名した。

幹事 田中 亮 (株式会社 N J S 西部支社 取締役支社長)

幹事 滝澤 茂 (株式会社 日水コン 大阪支所 支所長)

7. 議 事

(1) 第1号議案 平成28年度事業報告

議案に基づき、北支部長が「平成28年度事業報告」を行い、依藤副支部長が「平成28年度一般会務報告」として、①会員の動き、②会議、③事業、④P R活動、⑤発注者との意見交換活動結果、⑥関西支部及び本部活動結果一覧について報告を行った。

続いて、「部会・委員会報告」として各部会・委員会の活動について、議案に沿って、各部会長、委員長、委員が、①総務部会・委員会の報告、②広報部会・(本部)水坤編集部会の報告、③倫理部会・委員会の報告、④上水道部会・委員会の報告、⑤下水道部会・委員会の報告、⑥技術部会・技術・研修委員会の報告、⑦公益事業推進部会・対外活動委員会の報告、⑧J S協議特別部会の報告、⑨受託調査研究委員会の報告、⑩災害時支援委員会の報告を行った。



(2) 第2号議案 平成28年度決算報告

議案に沿って、国宗事務長が「平成28年度決算報告」として平成28年度の決算について、「決算概要」、「決算総括」、「財産目録」及び「会計検査」の報告を行った。報告の要旨は次のとおり。

① 収入

- ・会費収入は6月に1社入会となり決算額は予算より約21万円増で前年度実績より約16万円の増となった。
- ・本部交付金は本来の交付金約59万円と社会貢献事業支援金の約4千円が助成され約59万円であった。
- ・その他収入の雑収入には全体協議会及び下水道懇談会の懇親会々費約12万円を含み、実質収入合計は予算に対して約26万円増の約588万円となった。

② 支出

- ・育成事業では、関水コン技術講座の資料代と講師謝礼で約3万円予算余り、本部提案型の資料代と会場費で約7万円予算余りで、全体として約11万円の予算余りとなった。
- ・普及啓発ではホームページの委託費が約7万円減となり、約7万円の予算余りとなった。公益事業全体では、約18万円の予算余りとなった。
- ・資質向上では、施設見学会の中止とコンプライアンス講習会の講師料が不要になり、約13万円の予算余りとなった。
- ・要望活動では、2府4県意見交換活動の「要望と提案」資料を支部でコピーすることとなったり、下水道懇談会の会場変更で、約39万円の赤字となった。
- ・厚生活動は表彰とボウリング大会で約5万円の赤字となり、共益事業全体では、約31万円の赤字となった。
- ・事務局管理費では、故障したノートパソコンの買い換えで、約21万円の赤字となり、法人会計全体では、約22万円の赤字となった。
- ・以上より、平成28年度実質支出合計は予算に対して約35万円赤字の約637万円となった。

③ 決算のまとめ

- ・収入約588万円に対して支出は約637万円となり、約49万円の赤字となった。

議長が第1号議案と第2号議案を合わせて採決し、異議なく承認された。

(3) 第3号議案 支部運営規則・細則・内規の一部改正について

依藤総務部会長より、支部事務所移転にともなう支部運営規則第3条の改正議案の提案、支部役員選出投票の開票事務簡素化のための支部運営細則第3条の改正、及び支部部会活動の充実を目的とした支部運営細則第4条の改正、並びに部会の所掌業務に関する内規の改正について、4月19日開催の第321

回運営委委員会において審議し承認されたことが報告され、支部運営規則の改正については採決し、異議なく承認された。

(4) 第4号議案 役員互選報告

司会者から、役員による互選の結果、北支部長、田中副支部長、滝澤副支部長、依藤副支部長及び9名の幹事の体制が決定したことの報告を行った。

また、第321回運営委委員会において、支部運営規則第20条に則り、顧問の選任を行い、前副支部長で株式会社日水コン大阪支所顧問の井本敏様に委嘱することを報告した。

役員変更となるオリジナル設計株式会社の古屋幹事、株式会社東京設計事務所の児玉幹事、日本水工設計株式会社の本名幹事からの挨拶があった。

新役員を代表して、北支部長が、「我々を取り巻く環境は大きく変化しており、皆さまの事業執行のお役に立てるよう、活動内容も変化に的確に追従し、これまでの質・量を落とすことなく、役員が力を合わせて協会の更なるプレゼンス向上を図っていく所存であり、これまで以上のご支援を賜りたい。」旨の挨拶を行った。

(5) 第5号議案 平成29年度事業計画及び予算

1) 平成29年度事業計画

北支部長から、平成29年度事業計画について議案書に沿って方針趣旨説明を行い、会員各社への一層の理解と支援を求めた。



2) 平成29年度支部活動計画

続いて、田中副支部長が平成29年度支部活動計画を説明した。説明の主旨は次のとおり。

・公益事業として『育成』『普及啓発』『災害時支援』の3事業を推進する。

- ① 育成－講習会：上下水道事業に関する新しい技術を広く普及させるとともに上下水道技術者の育成を図るために、上下水道に関わる民間技術者や地方公共団体職員に広く公開した各種講習会の開催や、地方公共団体からの要請に応じた講師派遣（兵庫県は6回目）を予定している。
- ② 普及啓発－社会貢献活動：関水コンのホームページの充実や、協会誌「水坤」を広く配布することによって、上下水道の整備効果や水質保全にお

ける下水道の役割等に関する普及啓発を行うとともに、社会貢献行事に参加して知名度向上を図る。

- ③ 災害時支援：水コン協または会員企業として災害復旧に貢献できるよう、支援体制を充実させる。
- ・会員各社に直接的に役立つことに配慮し、共益事業として『資質向上』『要望活動』『厚生活動』の3事業に取り組む。
 - ① 資質向上：技術水準の向上やコンプライアンス体制の強化、職場環境改善等を目的として、会員各社の役職員を対象に施設見学会や講習会を行い、会員各社の足腰強化を図る。
 - ② 要望活動：上下水道コンサルタント業務に関する関係官公庁の施策等に対して、要望活動やPR活動を行う。
 - ③ 厚生活動：水コン協会員各社及び会員所属社員に対する各種の厚生事業を実施する。
- ・会議・委員会については、9部会及び運営委員会を効率的に機能させ、支部活動のかじ取りを行い、各種事業の推進を図る。

3) 平成29年度予算

続いて、国宗事務長が平成29年度予算(案)について説明を行った。説明の要旨は次のとおり。

① 収入

- ・会費収入は、会員数の増加により、平成28年度実績約495万円より約22万円増の約517万円とする。
- ・交付金は平成28年度実績と同等の約59万円とする。
- ・単年度収入を約610万円と見込む。これは平成28年度実績約588万円に対して約22万円増となる。

② 支出

- ・育成、普及啓発等の公益事業への支出は、平成28年度実績より約10万円増の約87万円の計画とする。
- ・資質向上、要望活動、厚生活動の共益事業への支出は平成28年度実績より約11万円増の106万円の計画とする。
- ・法人会計支出は、平成28年度実績約465万円から事務局管理費、会議費の約28万円減額で、約437万円の計画とする。
- ・平成29年度支出合計を平成28年度実績約637万円より約6万円減の約630万円の計画とする。

③ まとめ

・単年度収入予算約610万円に対し、支出予算は約630万円となり、約20万円の赤字予算とした。

北支部長より、新たに女性活躍推進法に呼応した女性懇談会などの新機軸を打ち立てるなど、質・量を落とさず協会活動を行いつつ、一昨年から取り組んでいる総コストの削減を更に進めたい旨の補足説明があった。

4) 役員・部会員等構成

北支部長が、議案の役員・部会員等構成に沿って、平成29年度の支部体制及び9つの部会並びに本部理事、本部委員会、部会、小委員会の活動体制について説明した。

議長が第5号議案について採決し、異議なく承認された。

8. 「公益社団法人への移行について」の説明

北支部長から、5月11日に開催された本部第127回理事会にて発議され、6月8日に開催予定の本部第34回定時社員総会にて審議されることになった議案について、これまでの検討経緯と公益認定申請を行う基本方針及び移行を目指す協会理念・活動と会員の優位性の説明を行った。

9. 議長降壇挨拶

北支部長が全体協議会議事進行への協力に対するお礼を述べ、降壇した。

10. 閉会

最後に、司会者が閉会の宣言を行い、懇親会の案内をして、第34回通常全体協議会は滞りなく終了した。

11. 懇親会

メルパルク大阪 5階 ラ・シェノウ (16:10~17:40)



来賓挨拶 水コン協本部 尾崎専務理事



懇親会参加
37名の皆さん



井本顧問による中締め